



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2138 URL https://crooz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者CFO (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-6387-3622
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,692	△7.6	246	△42.9	279	△37.5	168	△17.8
2022年3月期第1四半期	3,997	—	431	△31.0	447	△33.2	205	△39.4

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 127百万円 (△24.5%) 2022年3月期第1四半期 169百万円 (△45.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.16	—
2022年3月期第1四半期	18.44	16.35

- (注) 1. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,381	9,746	37.7
2022年3月期	25,086	9,650	37.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,564百万円 2022年3月期 9,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2023年3月期の配当金は未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	12,957,600株	2022年3月期	12,957,600株
2023年3月期1Q	1,835,121株	2022年3月期	1,835,121株
2023年3月期1Q	11,122,479株	2022年3月期1Q	11,122,479株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「20XX年までに時価総額1兆円以上」という超長期的目標を掲げ、2018年5月10日をもって全ての事業を子会社化し、純粋持株会社となりグループ経営へと移行しております。この超長期的目標を最速で実現するべく、次世代の事業と経営者の誕生と成長、永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組み「CROOZ永久進化構想」を活用し、より多くの起業家を育成し、『SHOPLIST.com by CROOZ』（以下、SHOPLIST事業）を軸に、EC領域に関連する複数のサービスを展開する「ECソリューションカンパニー」として、成長産業であるEC領域に今まで以上に注力してまいります。

グループの主要事業であるEC事業の国内BtoCのEC（消費者向け電子商取引）市場は2020年に19.3兆円に達しており（注1）、また今後さらに拡大し、2025年度には27.9兆円に達する見込みとされております（注2）。

また、その中でもSHOPLIST事業のおかれるアパレルEC（BtoC）市場は、2020年に約2.2兆円に到達しており、直近3年間で約5,749億円拡大してまいりました。近年販売の主戦場が実店舗からECに移行する大局の流れが見られていたところ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でその流れが加速しました（注1）。

当該成長市場においてSHOPLIST事業は、低価格で良質なファストファッション商材の取扱いに特化し、また会員属性も20-30代を中心とした女性という特異なポジショニングを確立し、2012年7月の立ち上げから10年目を迎えた前連結会計年度の取扱高は230億円となりました。

SHOPLIST事業においては、今後の更なる拡大を目指し、社長直下のプロジェクトとして、プロジェクトオーナーに社長と同等の権限を付与し、オーナー自ら課題が起きた背景や理由を深堀り、様々な事実データをもとに解決策を講じる重要プロジェクト制度を進行させております。重要プロジェクトをもとに、効果的な広告プロモーション投資、SHOPLISTに来ていただいた人に魅力的でニーズに合った商品の拡充、探しやすさや購入前と後のギャップをゼロにするべくサイトのユーザビリティ向上、配送効率の徹底的な見直し含めた物流インフラの強化等のコスト改善や業務効率の改善および組織体制の整備に注力してきましたが、取扱高を再度成長軌道に乗せていくための施策により注力してまいります。

また、新規制の高い事業にも積極的に取り組んでおり、今後の第二・第三の事業の柱として期待できる事業を生み出すべくチャレンジを継続してまいります。

以上の結果として、経営上の目標を判断するための客観的な指標等である連結取扱高は7,599,616千円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,692,645千円（前年同四半期比7.6%減）、営業利益246,324千円（前年同四半期比42.9%減）、経常利益279,639千円（前年同四半期比37.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益168,627千円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

（注1）2021年7月30日経済産業省「令和2年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」を基に記載しております。

（注2）株式会社野村総合研究所「ITナビゲーター2021年版」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① EC事業

売上高は2,008,803千円（前年同四半期比27.6%減）、セグメント損失は27,707千円（前年同四半期はセグメント利益387,708千円）となりました。

② ゲーム事業

売上高は836,084千円（前年同四半期比73.5%増）、セグメント利益は81,215千円（前年同四半期はセグメント損失99,442千円）となりました。

③ インターネット広告・メディア事業

売上高は457,832千円（前年同四半期比16.0%増）、セグメント利益は191,075千円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

④ その他事業

売上高は389,924千円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は1,739千円（前年同四半期はセグメント損失31,794千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、投資有価証券の減少384,257千円、売掛金の減少239,988千円及び無形固定資産のその他に含まれるソフトウェア仮勘定の減少135,576千円などがあった一方で、現金及び預金の増加952,521千円などにより、25,381,345千円（前連結会計年度末比294,573千円の増加）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、長期借入金の減少56,526千円などがあった一方で、未払金の増加81,076千円、買掛金の増加38,588千円及び繰延税金負債の増加30,444千円などにより、15,634,396千円（前連結会計年度末比198,330千円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、非支配株主持分の減少85,159千円及びその他有価証券評価差額金32,908千円の減少などがあった一方で、資本剰余金の増加50,209千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上168,627千円などにより、9,746,948千円（前連結会計年度末比96,242千円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせます。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,765,772	14,718,294
売掛金	3,006,889	2,766,900
その他	788,299	613,114
流動資産合計	17,560,961	18,098,310
固定資産		
有形固定資産	807,846	784,323
無形固定資産		
ソフトウェア	263,344	375,091
その他	142,606	6,958
無形固定資産合計	405,950	382,050
投資その他の資産		
投資有価証券	4,947,889	4,563,632
その他	1,235,586	1,429,500
投資その他の資産合計	6,183,476	5,993,133
固定資産合計	7,397,274	7,159,507
繰延資産		
社債発行費	128,535	123,527
繰延資産合計	128,535	123,527
資産合計	25,086,771	25,381,345
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,039,064	2,077,653
未払金	1,371,332	1,452,409
未払費用	487,981	479,149
未払法人税等	146,025	134,591
その他	1,129,447	1,191,257
流動負債合計	5,173,850	5,335,061
固定負債		
社債	10,000,000	10,000,000
長期借入金	255,291	198,765
繰延税金負債	5,887	36,331
その他	1,037	64,237
固定負債合計	10,262,215	10,299,334
負債合計	15,436,065	15,634,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,163	460,163
資本剰余金	1,363,694	1,413,903
利益剰余金	10,182,340	10,351,207
自己株式	△2,661,624	△2,661,624
株主資本合計	9,344,573	9,563,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,349	4,440
為替換算調整勘定	1,195	△3,641
その他の包括利益累計額合計	38,544	798
新株予約権	9,482	9,554
非支配株主持分	258,104	172,945
純資産合計	9,650,705	9,746,948
負債純資産合計	25,086,771	25,381,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,997,642	3,692,645
売上原価	2,169,917	2,042,620
売上総利益	1,827,725	1,650,025
販売費及び一般管理費	1,396,517	1,403,701
営業利益	431,207	246,324
営業外収益		
受取利息	3,363	19,703
為替差益	—	7,774
投資事業組合運用益	37,074	474
その他	4,800	23,320
営業外収益合計	45,238	51,272
営業外費用		
支払利息	6,967	7,747
社債発行費償却	5,007	5,007
持分法による投資損失	14,457	4,409
その他	2,486	792
営業外費用合計	28,920	17,956
経常利益	447,526	279,639
特別利益		
新株予約権戻入益	4,980	9
事業譲渡益	—	19,374
関係会社株式売却益	104,395	12
受取和解金	—	480
その他	1,094	—
特別利益合計	110,470	19,877
特別損失		
減損損失	—	4,720
事業譲渡損	—	1,645
貸倒損失	19,063	—
その他	24,073	4,466
特別損失合計	43,137	10,832
税金等調整前四半期純利益	514,859	288,683
法人税、住民税及び事業税	291,842	125,606
法人税等調整額	2,625	△2,599
法人税等合計	294,467	123,006
四半期純利益	220,391	165,677
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15,312	△2,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,079	168,627

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	220,391	165,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,086	△32,908
為替換算調整勘定	30	△4,837
その他の包括利益合計	△51,056	△37,745
四半期包括利益	169,334	127,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,022	130,881
非支配株主に係る四半期包括利益	15,312	△2,950

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。